

リモート部の接続方法

リモート部を接続するには以下の手順で行ってください。

- ケーブルの処理 (図1-a)
 1. ケーブルの外被をストリップします。
 2. 心線の被覆をストリップします。
 - ケーブルの固定位置 (図1-b)

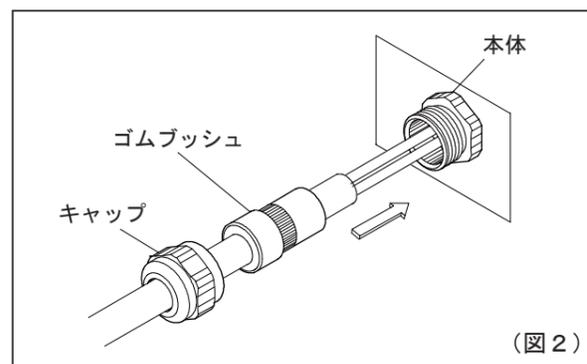
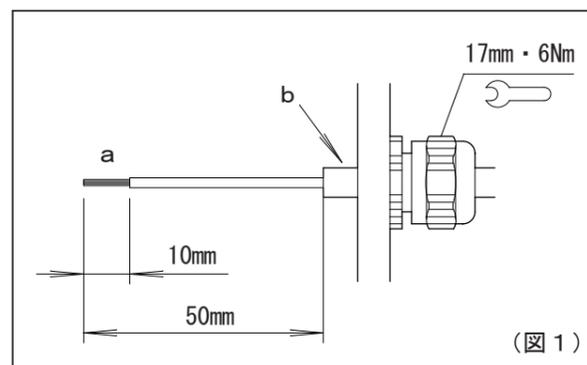
ケーブルの外被が必ずボックス内部に位置するよう、固定位置を設定します。
 - ケーブルの締付 (図2)

ケーブルにキャップとゴムブッシュを挿入してから本体に差し込んでください。

ケーブルグランドはスパナ (口径 17mm) を用いて締め付けてください。

適合ケーブル径 : ϕ 6.5...9.5 締付トルク : 6Nm

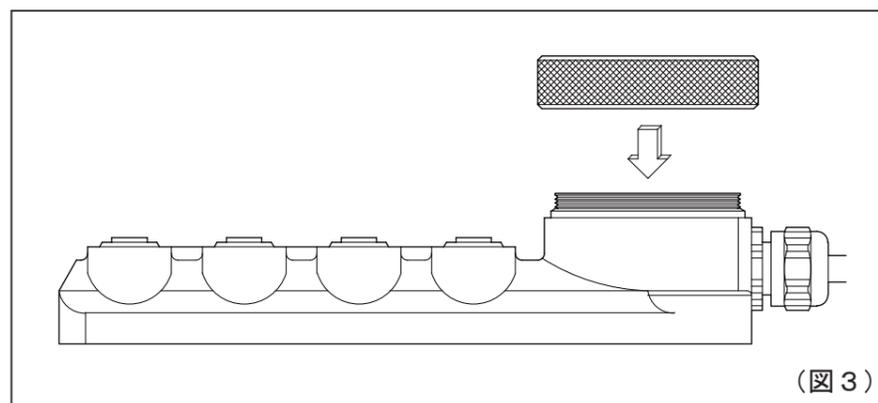
キャップは本体まで締め切っても差し支えありません。
 - メンテナンスでリモート部を交換する場合は、ケーブルグランドのゴムブッシュを新品と交換してください。
- ゴムブッシュ 型式 : KBC-F2/E150P9



ボックスの固定及び上蓋の取付について

ボックスはM5キャップボルト (長さ 20mm 以上) 3本で固定してください。

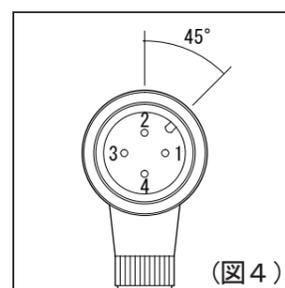
上蓋を取り付ける際には、ねじ部の“かじり”や破損を防止するため、上蓋をボックス本体に正しく対面させ、しっかりと締めてください。(図3)



アングルタイプコネクタの接続について

アングルタイプのコネクタをご使用になる場合は、必ずコネクタ接続部分の突起が右図に示す位置にあるものを使用してください。(図4)

このタイプ以外のコネクタを使用した場合、コネクタのケーブルが干渉し、他のコネクタが使用できなくなる場合があります。



◎このタイプのコネクタを使用してください。

端子台への接続

配線図に従い、心線を端子に接続します。

<注意>

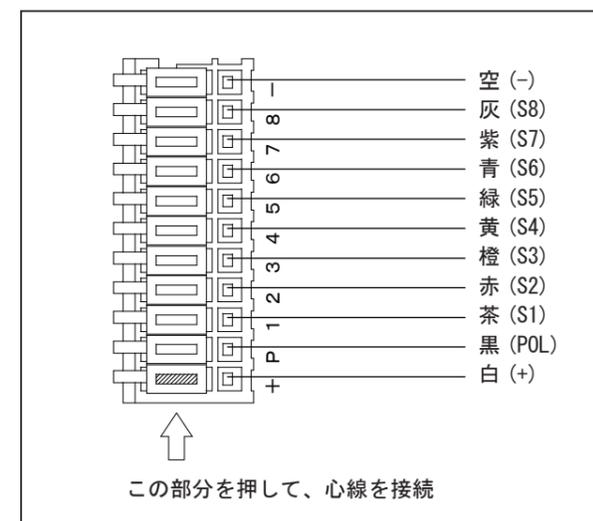
マイナスドライバ (刃先幅 2.6mm) でボタンを押して心線を接続します。

心線は端子内部に突き当たる位置まで挿入してください。

(挿入が浅い場合は心線の抜けや隣接するほかの線との短絡原因となり、深すぎる場合は被覆の挟み込みによって接触不良の原因となります。)

配線図

パワーリモートセンサ RGPT / 8点伝送タイプ



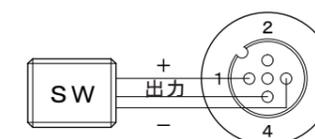
コネクタへの配線

検出部をコネクタに配線するには下図を参照して行ってください。

RPK-8C01L-N

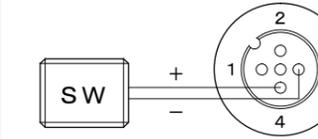
● NPN・3線式

1・3・4ピンに接続



● 有接点SW

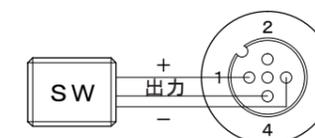
3・4ピンに接続



RPK-8C01L-P

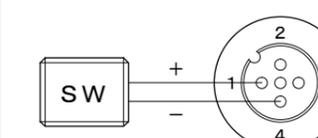
● PNP・3線式

1・3・4ピンに接続



● 有接点SW

1・4ピンに接続



*未使用のコネクタは必ずブランクキャップで保護してください。